

報告書

カヤック インストラクター/ガイド ベーシック検定会 宮城県仙台市会場

2018.11.28 アースクエスト 紺野祐樹

○概要

実施日：2018年11月24日(土)～25日(日)

会場 学科：宮城県仙台市・アースクエスト 実技：宮城県松島町 扇浜

受験者数：1名 合格者数：1名 入会希望者：1名

○開催の経緯

受験者の開催要望に基づき手、開催しました。受験者は、岩手県宮古市のJSCA公認スクール、sea·sonで年に数回の体験会サポートを行っているとのことで、今後とも継続してサポートをするにあたり、体系的なカヤックぼことを学ぶために申し込んだとのことです。

○学科講義・試験

学科講義は、アースクエストの事務所で行った。今回の概論でも、協会の規定類の説明に定款および規程集を使用した。実際に定款や規程集を見てもらうことで、どんな協会なのかを的確に伝えることができた。特に受験者から質問の多い、マーク規定及び公認スクール規定については、丁寧に説明を行った。規程集を実際に見ることで、曖昧な点を排除してしっかりとした説明が出来た。

安全に関する項目では、パドリングシーン特有の疾病の問いかけを行い、ファーストエイドキットは洗い出した疾病に対応できるよう自分で考えて準備する必要があること、洗い出した疾病への、応急手当、予防法、一般レベルの救急法では無く、現場で使える救急法を身につける必要性を、法的な責任とともに説明した。また、リスクマネジメントに関しては、事故発生の要因分析から特にリスクの洗い出しの重要性、様々な事態を想定して事前にその対策を具体化することの必要性を強調して講義した。

基礎知識では、艇の形状に関する興味が大きかったので、艇の形状からくる特性の違いや、体格やフィールドに合わせた艇の選択、参加者にツアー参加時のウェアを伝えるトレーニングなどを行い、現場で必要になる知識をメインに講義を行った。

○実技検定

実技検定は、松島町の扇浜で開催した。デモは、アースクエスト非常勤スタッフ（K1）が行った。

・漕艇技術

事前講習を受講済みだったので、非常にスムーズに検定を行えた。波風も無く、遊覧船の通過も無かったので、静水でのパドリング技術をしっかり確認できた。尚、受験者はシーカヤックで受験だったので、スピンは左右それぞれ1回転で判定した。

・指導法

教育関係の仕事をしていることもあり、非常に明瞭な説明と適切なデモで、わかりやすい指導を行っていた。ただし、参加者の動きに応じたアドバイスが不十分な部分が見られた。

・安全講習

3Sの確認とともに、いかにシンプルな操作で目的の場所、向きにカヤックをコントロールするかをトレーニングした。ボートコントロールについては、特に迷うことも無くスムーズに講習ができたが、レスキューに関しては経験が無かったので、Tレスキューの流れを伝え、助ける方・助けられる方の両方を演練した。また、浮力体の重要性を丁寧に伝え、特にバルクヘッドのないカヤックを扱う際は、必ず浮力体を付けることを強調した。セルフレスキューは、問題なく行えた。

○総括

マンツーマンの検定となり、受験生にとっては息抜きのタイミングが少ない検定だったと思う。半面、マンツーマンのメリットを生かし、興味や関心に応じたきめ細かな対応を行うことで、講義を深く掘り下げながら行うことができた。実技に関しては、事前講習を受講していただいていたので、特に問題も無く終了した。

